

令和2年度 第14回「笠間地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和2年8月31日（月） 19：30～20：30

場 所：笠間公民館

参加団体等：振興協議会、町内会長会、壮年会、笠間老健会、体育協会、子ども会
指導者会、社会福祉協議会、商工連盟、JA青年部笠間地区、公民館運審議会、
防犯協会、安全協会、自衛消防連合隊など

発言【1】

体育館（格納庫）増設再検討について（健康維持と災害時の避難所の面積確保）

【市】

現在、使用している公民館周辺の物置を引っ越しに合わせて軽体育館周辺に移転する予定です。

公民館の改築時には、公民館の軽体育館や町内の集会所など近隣の公共施設等を活用することで地区の方にはご協力をいただいておりますので、ご理解をお願いいたします。

発言【2】

食べて笑って過ごせるまちづくりについて

80歳以上に週2・3回、お弁当の宅配を（市の助成金で）

【市】

市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「地域コミュニティ組織」の創設を進めております。お弁当の宅配などにつきましても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つと考えております。

市では、心身の障害等のため、自分で調理できず、買い物にも行けない、また家族などから食事の提供を受けることが困難な方には、栄養バランスのとれた弁当を自宅までお届けし、配食時に安否を確認する事業を行っております。

※「ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業」

対象者：ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、またはこれに準ずる世帯の高齢者及び身体障害者の方で安否確認が必要な方

配食回数：毎日2食

助成額：300円／1食

週2・3回の宅配をご希望の場合は、助成はありませんが、自費購入に対応している配食事業者の紹介をしております。

発言【3】

- (1)笠間団地のバス停増設について
- (2)シルバーカーの置き場所について

【市】

- (1)来年度に向けてルート、ダイヤの見直しを協議しております。
- (2)バス停の設置を検討する際に、シルバーカー利用者の利便性についても配慮したいと考えております。

発言【4】

地産地消と（地域のところで作ったものを地域の方々に活用して地域の方に食べてもらう）補助について

【市】

現在、生産・販売・消費を地域で担っている事業に対し、市から補助するという制度はありません。

しかしながら、生産・販売・消費を行政主体ではなく、地域主体で運用することで、地域のコミュニティに繋がり、子育て世帯や高齢者を含めた住民同士の支え合いになると考えられます。

発言【5】

市民協働で創るまちづくりの支援事業について（来年度の予定は）

【市】

市民提案型まちづくり支援事業補助制度は令和3年度で終了であり、現在、市内28地区での実施に向けて取り組みを進めております地域コミュニティ組織の活動費となる（仮称）地域予算制度[一括交付金]に移行し、各地区において、地域課題の解決や地域資源の活用に関わる取り組みについて活用いただくことを考えております。

発言【6】

SDGsについて（認知度が低いのではないかと）

【市】

普及啓発といたしまして、市広報はくさん5月号より毎月SDGsの紹介ページを掲載しております。SDGsの取り組みといたしましては、白山市の地下水の水温、水位、電気伝導度（EC）をセンサーで計測し、9月より市ホームページに掲載しており、金沢工業大学を中心に学習プログラムに活用してもらうことにな

っております。また、今年度からは、地元の高等教育機関である金城大学短期大学部とも連携し活動を行っております。これら学生が実践する内容を、今後市民にも広げていきたいと考えております。

発言【7】

加賀笠間駅の防犯カメラ設置について

【市】

防犯カメラの設置につきましては、今後JRと協議をし、住民の安全安心のために、地元の要望を伝えてまいりたいと考えております。